



Bーぐる沿線協議会ニュース

第11号

平成26年8月発行 Bーぐる沿線協議会事務局 区民課庶務係（コミュニティバス担当） 03-5803-1387

平成26年7月8日に沿線協議会が開催され、平成25年度Bーぐるの利用実績と決算報告、企画会議の活動報告がありました。

両ルートで87万人の利用、目白台・小日向ルート伸びが継続

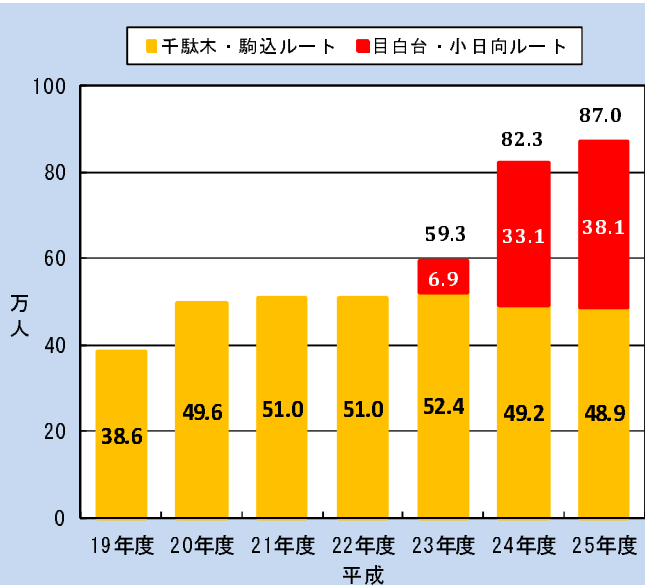
平成25年度の乗車実績は、千駄木・駒込ルートが対前年比約0.7%減の48万8,657人、目白台・小日向ルートは対前年比約15.2%増の38万1,557人となり、両ルート合計で87万214人でした（図1）。千駄木・駒込ルートが2年連続で前年度割れとなった一方、目白台・小日向ルートは2年連続で増加しました。今年度に入ってからもう一日当たり1,000人を超える日が続く、25年度と比べても増加基調が持続しています。

月別の乗車実績では、降雪等の影響で若干の変動はあるものの、「夏場に多く冬場に少ない」例年どおりの傾向となりました。目白台・小日向ルートについては、各月で利用実績が伸びている中、特に6、7月の伸びが顕著でした（図2）。

千駄木・駒込ルートの今後の利用見通しに対し、事務局では、「他区でも2年連続で減少している例

はあまり見られず、原因究明と何らかの対策が必要」と述べました。その上で、時間帯によっては混雑度が高い、ベビーカーで利用しづらい等の理由で敬遠されていることも考えられ、車両更新の検討により改善を図りたいとの説明がありました。

また、昨年度実施した区民アンケートの結果から、コミュニティバスの運行を「知らなかった」割合が約7%あったことを受け、新たに転入してきた区民に対する広報、Bーぐるマップの置き場所の追加、CATV等との連携の対策があげられました。



千駄木・駒込ルート 19年度は4月28日からの集計（339日）
目白台・小日向ルート 23年度は12月23日からの集計（100日）

図1 Bーぐる乗車実績の推移

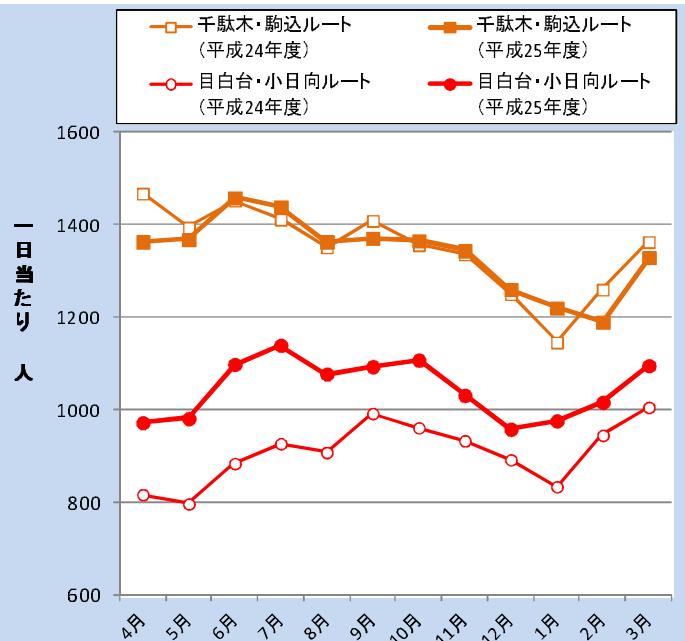


図2 月別乗車実績（平成24・25年度）

Bーぐるを支える仕組みの充実と新たなニーズの開拓が必要

続いて、日立自動車交通(株)の西窪委員から平成25年度決算の報告がありました。両ルートともに運送収入は増加したものの、人件費の見直しや燃料費の高騰などにより経費が増加した結果、税引き後利益は千駄木・駒込ルートが約800万円のマイナス、目白台・小日向ルートが約1,680万円のマイナスとなりました。前年度に比べて運送収入が増えた結果、マイナス幅も小さくなりましたが、支出が収入を上回る状況が続いています。

委員は、「他区では経費がかさむからコミュニティバスをやめたらどうかという意見も出るが、バス会社が撤退した「バスのない町」はお年寄りには不便。いずれ都内もそうした状況になりかねない。バス事業者の経営努力だけでは限界もあるので、国・都・区と協力して公共交通機関を残す仕組みが必要」と訴えました。

さらに、バス業界は全国的に運転士不足の状況が続いており、日立自動車交通(株)でも5年前から運転

士の自社養成を始めたとのことで、時間とコストはかかるものの、そこまでしないと運転士が確保できない厳しい状況がうかがえます。中でも女性運転士は10名と全体の3%程度にとどまり、そのうち4名がBーぐるの担当とのことです。

こうした状況を踏まえ、委員は「コミュニティバスは乗客とのふれあいが大切だと考えているので、女性運転士の割合を増やすために、女性が勤務しやすい昼間の時間帯だけの勤務体系を整えることも検討している」と述べました。

また、鈴木委員から、「少し前にテレビで文京区の観光客が増えているというニュースを見た。区外からの観光客が増えれば、Bーぐるの利用者も増える余地があるということで期待がもてそう。目白台・小日向ルートについては、利用者数もまだ伸びしろがあるように感じるので、企画会議の活動でも力を入れていきたい」と抱負が述べられました。

沿線地域の活性化に向け、企画会議の活動にも期待

最後に饗場委員から、企画会議の平成26年度活動計画の説明がありました。

■沿線地域情報番組の制作

跡見学園女子大学マネジメント学部芝原ゼミとの協働で、Bーぐる(千駄木・駒込ルート)の車内モニターを活用した沿線地域情報番組(Bーぐるチャンネル)を制作します。今年、文京区高齢者クラブ

連合会の協力を得て、4地区(支部)の「わがまち紹介」や「サークル活動紹介」を中心とした内容になります。既に第1作(大塚・小石川地区)の撮影に入っており、9月1日からBーぐる車内で放送開始の予定です。

■夏休み親子洗車ツアーの開催

Bーぐるとのふれあいを通じて、コミュニティバス運行事業や沿線協議会活動に対する理解と協力を促進するイベントを8月24日(日)に開催します。

区内在住の親子40名でBーぐるの車庫を訪問し、車体の洗車・車内の清掃体験、整備工場の見学、記念撮影等を行う予定です。

■区商連とのコラボイベント

文京区商店会連合会で毎年夏休み期間に実施しているお買い物スタンプラリーとコラボし、沿線協議会の知名度アップを図ります。参加店で買い物してスタンプを集めてもらい(1店ごとに1スタンプ)、完成したビンゴの数に応じた「びい」と「ブンブン」のイラスト入り賞品をプレゼントします。

編集後記

Bーぐるの運行事業者である日立自動車交通(株)さんから、バス業界が直面している課題をお聞きしました。中でも運転士の確保には苦勞されているとのことです。

沿線協議会企画会議の活動がBーぐるを支える一助となればと改めて感じました。

10月には任期満了に伴う委員の改選があります。公募委員も現状の6名から8名に増えるとのことなので、ぜひ企画会議の活動にも参加してもらい、パワーアップが図れればと思います。(N)

